

「第6回 脳・神経・内分泌系から運動の意義を考える会」

脳も筋と同様、運動に対して反応・適応します。昨今の脳科学研究の急速な発展、続々見出される新規生理活性物質（ホルモンなど）は、様々な運動効果を仲介する脳・ホルモン機構や分子経路を考え、心身の統合を理解する上で新たな視点を提供してくれます。こうした新しいトピックスや研究上の様々な課題について情報交換し、身体運動科学の新たな視点を育む場を提供するフォーラムを開催いたします。

運動による疲労の要因は末梢性と中枢性に分けられ、近年では脳科学の隆盛も手伝って、後者の研究がにわかに活況を呈しています。そこで、今回は「運動による中枢性疲労」をメインテーマに、運動時の疲労について脳・神経・内分泌の観点から議論を深めることとしました。古くから議論されてきた運動時の疲労について、新たな知見をもとに理解を深める契機となればと考えております。

1. 日 時： 2013年9月20日（金） 13：30～17：00（13:00受付開始）
2. 場 所： 筑波大学 東京キャンパス文京校舎 119 講義室
〒112-0012 東京都文京区大塚 3-29-1
3. 会 費： 2000円（学生：1000円） ※研究会の当日、受付にて申し受けます。
4. プログラム：
 - 話題提供（発表30分＋討論15分）
 - 「運動時の周辺視野と前頭前野の酸素化動態」
安藤 創一（福岡大学）
 - 「新しい中枢疲労因子としての脳グリコゲン」
松井 崇（新潟医療福祉大学）
 - 「疲労感の発生とその脳内機構」
井上 和生（京都大学）
 - トピックスアワー（スライド三枚程度によるトピックの発表）
5. 懇親会：懇親会のみでの参加も歓迎いたします。
 - 会場： 茗荷谷駅周辺（未定）
 - 時間： 18：00～20：30（予定）
 - 会費： 5000円程度（学生：3000円程度）
6. 世話人： 北 一郎（首都大学東京）、丹 信介（山口大学）
三上俊夫（日本医科大学）、征矢英昭（筑波大学）
7. 参加申し込み： 研究会ならびに懇親会に参加される方、トピックスアワーで発表いただける方は
8月末日までに、下記連絡先までご一報いただければ幸いです。
8. 連絡先： 征矢英昭
筑波大学大学院人間総合科学研究科運動生化学研究室
TEL / FAX：029-853-2620 E-mail：hsoya@taiiku.tsukuba.ac.jp